



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 ゼット株式会社  
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	22,538	32.9	219		463		374	
2021年3月期第2四半期	16,956	22.4	261		218		219	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,417百万円 (914.9%) 2021年3月期第2四半期 139百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	19.16	
2021年3月期第2四半期	11.22	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	26,433	11,296	42.7	577.10
2021年3月期	22,999	9,918	43.1	506.69

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 11,296百万円 2021年3月期 9,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		2.00	2.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	22.3	400		650	341.8	530	383.8	27.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日開示いたしました「第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	20,102,000 株	2021年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	527,054 株	2021年3月期	527,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	19,574,946 株	2021年3月期2Q	19,575,046 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中、ワクチン接種が進むことによる感染収束が期待され、一部に景気の持ち直しの動きが見られるものの、今後における感染再拡大の懸念もあり依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化 ②アスレチックビジネスの深化 ③ライフスタイルビジネスの進化 ④主力ブランドの再強化 ⑤EC市場での多面的対応 ⑥商品・ブランドの絞り込みと新規販路の開拓に取組み、「構造改革」として①利益率の向上 ②経営の生産性向上 ③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化 ②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,538百万円(前年同期比32.9%増)、営業利益は219百万円(前年同期は営業損失261百万円)、経常利益は463百万円(前年同期は経常損失218百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は374百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失219百万円)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、「アスレックス」マーケットは、緊急事態宣言が継続的に発出されたものの前年同期に比べ営業活動制限が緩和されたことや、ベンゼネラル株式会社からの事業譲受効果もあり、前年同期比で大きく回復し、前々年同期比でも堅調に推移しました。その中で、野球・ソフトボールやサッカー等の屋外スポーツに比べ、バスケットボールやバドミントン等の屋内スポーツは前々年同期比で低調に推移し、回復はやや遅れておりますが、卓球用品は事業譲受による新規販路の拡大により好調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、コロナ禍関連商品の需要は一段落したもののアウトドア用品の好調が続いており、好調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、事業譲受によるフィットネス事業の拡大により堅調に推移しました。また、指定管理事業は引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は21,726百万円(前年同期比33.9%増)となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、商品戦略、販売戦略の精度をさらに上げ、収益力の高い企業体質向上に努めました。野球・ソフトボール用品はオーダーグラブが引き続き好調に推移するとともに、全国高等学校野球選手権大会においてキャッチャー防具が49校中24校に使用され、また、ホワイトスパイク採用校の増加もあって高評価を得ました。一方、「コンバース」のバスケットボール用品は、屋内スポーツの回復が厳しく苦戦しました。

この結果、売上高は128百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、三密回避のレジャーとしてアウトドア用品の人気の続いており、ほぼコロナ禍前の水準まで回復しました。登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者の増加が続き、堅調に推移しました。店頭販売は、前期緊急事態宣言に伴い約1ヶ月間休業したことによる反動により増収となりました。

この結果、売上高は235百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

#### (その他部門)

スポーツ施設運営部門は、約2ヶ月間の休業等により業績が落ち込んだ前期と比べ増収となったものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の継続的発出により、未だ厳しい状況が続いています。物流部門は、経済活動が前年同期に比べ回復し、外部受託業務の取扱い量が増加したことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は448百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は19,637百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,915百万円増加しました。これは主に現金及び預金が961百万円、商品及び製品が363百万円、電子記録債権が287百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,796百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,518百万円増加しました。これは主に投資有価証券が1,487百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は26,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,434百万円増加しました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は12,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,665百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が744百万円、電子記録債務が451百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ390百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が445百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は15,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,055万円増加しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計年度末における純資産合計は11,296百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,378百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が1,031百万円、利益剰余金が335百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.7%（前連結会計年度末は43.1%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ961百万円増加し、5,799百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は1,198百万円（前年同期は6百万円使用）となりました。これは主に棚卸資産の増加353百万円、売上債権の増加247百万円があったものの、仕入債務の増加1,195百万円、税金等調整前当期純利益463百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は85百万円（前年同期比13百万円増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出58百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は160百万円（前年同期は714百万円獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出103百万円、配当金の支払額38百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間を勘案し、通期の業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日（2021年11月11日）に公表しました「第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,138	6,100
受取手形及び売掛金	8,037	7,998
電子記録債権	1,073	1,360
商品及び製品	3,189	3,553
仕掛品	59	44
原材料及び貯蔵品	123	127
返品資産	—	395
その他	178	175
貸倒引当金	△78	△117
流動資産合計	17,721	19,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,832	2,844
減価償却累計額	△2,087	△2,109
建物及び構築物 (純額)	745	734
土地	1,228	1,228
その他	890	848
減価償却累計額	△709	△692
その他 (純額)	181	155
有形固定資産合計	2,154	2,118
無形固定資産		
その他	106	146
無形固定資産合計	106	146
投資その他の資産		
投資有価証券	2,398	3,886
長期貸付金	13	12
敷金	206	222
その他	475	628
貸倒引当金	△78	△217
投資その他の資産合計	3,016	4,531
固定資産合計	5,277	6,796
資産合計	22,999	26,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	6,632
電子記録債務	3,454	3,905
短期借入金	206	206
未払法人税等	41	144
未払消費税等	154	86
賞与引当金	234	293
返品調整引当金	46	—
返金負債	—	465
その他	769	727
流動負債合計	10,795	12,461
固定負債		
長期借入金	532	428
繰延税金負債	449	895
退職給付に係る負債	332	341
長期未払金	11	11
その他	959	998
固定負債合計	2,285	2,675
負債合計	13,080	15,136
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,638	4,973
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,537	8,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,375	2,406
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	11	20
退職給付に係る調整累計額	△10	△8
その他の包括利益累計額合計	1,380	2,423
純資産合計	9,918	11,296
負債純資産合計	22,999	26,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	16,956	22,538
売上原価	13,836	18,300
売上総利益	3,119	4,238
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	197	206
運賃及び荷造費	371	487
賃借料	153	138
役員報酬及び給料手当	1,300	1,415
貸倒引当金繰入額	△10	180
賞与引当金繰入額	184	272
減価償却費	66	73
その他	1,115	1,243
販売費及び一般管理費合計	3,380	4,018
営業利益又は営業損失(△)	△261	219
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	10
受取賃貸料	5	4
業務受託料	5	3
助成金収入	28	211
その他	12	14
営業外収益合計	64	246
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	15	—
その他	4	2
営業外費用合計	21	3
経常利益又は経常損失(△)	△218	463
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△218	463
法人税、住民税及び事業税	17	114
法人税等調整額	△16	△26
法人税等合計	1	88
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219	374
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	△219	374

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219	374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372	1,031
繰延ヘッジ損益	△11	0
為替換算調整勘定	△3	9
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	359	1,042
四半期包括利益	139	1,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	1,417

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△218	463
減価償却費	69	77
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	179
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	59
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	8
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	1	1
売上債権の増減額(△は増加)	454	△247
棚卸資産の増減額(△は増加)	196	△353
仕入債務の増減額(△は減少)	△563	1,195
未払消費税等の増減額(△は減少)	127	△68
その他	△61	△94
小計	△21	1,210
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6	1,198
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△63	△15
無形固定資産の取得による支出	△14	△58
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	7	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72	△85
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△107	△103
配当金の支払額	△57	△38
その他	△20	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	714	△160
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	632	961
現金及び現金同等物の期首残高	3,176	4,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,809	5,799

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。